

科目名	メディア情報工学セミナー	英文表記	Media Information Engineering Seminar	平成28年3月18日			
科目コード	1304	教員名: 玉城龍洋 技術職員名: —				作成	
対象学科/専攻コース		学年	必・選	履修・学修	単位数	授業形態	授業期間
メディア情報工学科		1年	必	履修	1単位	講義	後期
科目目標 【MCC目標】	今日の社会では、情報技術は必須のスキルとなっている。本講義は情報技術の基礎となるハードウェア、ソフトウェア、ネットワーク、企業戦略の基礎を広く修得することを目標とする。 【V-D-8】セキュリティ分野では工学的活動と日常性的活動において遭遇する情報化社会特有の脅威と、それに対する対策を理解している。						
総合評価	期末試験(40%)の定期試験と小テスト(60%)によって知識の理解、定着度を評価し、60点以上を合格とする。						
科目達成度目標とJABEE目標との対応	目標割合	科目達成度目標(対応するJABEE教育目標)	達成度目標の評価方法	ルーブリック			
				理想的な到達レベル(優)	標準的な到達レベル(良)	最低限必要な到達レベル(可)	セルフチェック
	①	コンピュータのアーキテクチャやソフトウェアが理解できる。	理解度を定期試験および小テストで評価する。	コンピュータアーキテクチャやソフトウェアを理解し、必要な要件を考案できる。	基本的なコンピュータのアーキテクチャやソフトウェアを説明できる。	基本的なコンピュータのアーキテクチャやソフトウェアが理解できる。	
	②	ネットワークを構成する機器とその通信規約が理解できる。	理解度を定期試験および小テストで評価する。	ネットワークプロトコルやハードウェアの構成を理解し、必要なシステムを考案できる。	ネットワークプロトコルやハードウェアについて理解し、説明できる。	ネットワークの基礎知識を理解できる。	
③	企業戦略や生産管理の基礎を理解できる。	理解度を定期試験および小テストで評価する。	企業活動と生産管理を理解し、功利的な業務について理解できる。	基本的な企業活動とその業務内容を説明できる。	基本的な企業活動を理解できる。		
本科・専攻科教育目標	1	2	3	4			
	◎		○				
評価方法と評価項目および関連目標に対する評価割合							
評価項目	目標との関連	定期試験	小テスト	レポート	その他(演習課題・発表・実技・成果物)	総合評価	セルフチェック
基礎的理解	①②③	50	50	0	0	100	
応用力(実践・専門・融合)	①②③	30	50			80	
社会性(プレゼン・コミュニケーション・PBL)		20				20	
主体的・継続的学修意欲						0	
授業概要、方針、履修上の注意	本講義は、情報技術の基礎となるハードウェア、ソフトウェア、ネットワークを広く講義する。また、実際に社会で情報技術がどのように使われて、企業がどのような戦略を持っているのかを簡単に説明する。講義では、ITパスポートの資格取得を目標としてITパスポート試験の範囲を網羅するように行う。範囲が浅く広くなるため、各時復習をして知識の定着を図ってほしい。						
教科書・教材	やさしいITパスポート講座2016年版、高橋麻奈、ソフトバンククリエイティブ株式会社						

授 業 計 画					
週	授 業 項 目	時間	授 業 内 容	自学自習 (予習・復習)内容	セルフ チェック
1		2			
2		2			
3		2			
4		2			
5		2			
6		2			
7		2			
8	前期中間試験(行事予定で過変更可)	2			
9		2			
10		2			
11		2			
12		2			
13		2			
14		2			
15		2			
期末	期末試験	[2]			
16	ガイダンス	2	講義の進め方、評価方法、講義概要について説明する。		
17	2進数	2	2進数、n進数の基数変換を学ぶ。	基数変換の復習	
18	ハードウェア(1)	2	コンピュータ5大装置について学ぶ		
19	ハードウェア(2)	2	入出力装置と周辺機器について学ぶ。		
20	ソフトウェア	2	基本ソフトウェア、中間ソフトウェアについて学ぶ。	ソフトとハードの復習	
21	データベース	2	データベースの概念を学ぶ。	データベースの復習	
22	ネットワーク(1)	2	ネットワークをハードウェアの観点から学ぶ		
23	ネットワーク(2)	2	ネットワークをソフトウェアの観点から学ぶ		
24	ネットワーク(3)	2	ネットワークをソフトウェアの観点から学ぶ	ネットワークの復習	
25	セキュリティ(1)	2	セキュリティを学ぶ 【V-D-8】コンピュータウイルスやフィッシングなど、コンピュータを扱っている際に遭遇しうる代表的な脅威について説明できる。	セキュリティの復習	
26	セキュリティ(2)	2	ソフトウェアライセンスについて学ぶ 【V-D-8】コンピュータウイルスやフィッシングなど、コンピュータを扱っている際に遭遇しうる代表的な脅威について説明できる。		
27	情報システム(1)	2	システム開発の流れを学ぶ	システムとその開発の復習	
28	情報システム(2)	2	業務システムとマネジメントについて学ぶ		
29	企業とストラテジ(1)	2	企業の業務と戦略について学ぶ。		
30	企業とストラテジ(2)	2	生産・販売管理について学ぶ	企業経営の復習	
期末	期末試験	[2]			
学習時間合計		60	実時間	45	
自学自習(予習・復習)内容(学修単位における自学自習時間の保証)				標準的所用時間	
①					
②					
③					
備考欄					
<p>(JABEE関連共通記述)</p> <ul style="list-style-type: none"> この科目はJABEE非対応科目である。その他必要事項は各コースで定める。 <p>(各科目個別記述)</p> <ul style="list-style-type: none"> この科目の主たる関連科目はプログラミングIである。 <p>(モデルコアカリキュラム)</p> <ul style="list-style-type: none"> 対応するモデルコアカリキュラム(MCC)の学習到達目標、学習内容およびその到達目標を【】内の記号・番号で示す。 <p>(航空技術者プログラム)</p> <ul style="list-style-type: none"> 【航】は航空技術者プログラムの対応項目であることを意味する。 					

学習時間は、実時間ではなく単位時間で記入する。(45分=1、90分=2)